



新潟県内初披露の新製品が勢ぞろい(昭栄産業)

## 県内初披露製品が勢ぞろい

## 昭栄産業

昭栄産業(新潟市中央区、平澤利明社長)は5月19日と20日の2日間、「第36回昭栄テクニカルフェア」を新潟県三条市の燕三条地場産業振興センターで開催した。会場には、新潟県内の工作機械ユーザーなどを中心に、数多くの来場者が訪れた。

約60社が出展した会場では、昨年11月の日本国際工作機械見本市(JIMTOF)で展示された工作機械や周辺機器など、県内初披露の新製品が勢ぞろいした。また、これまでは製品ごとに展示していたが、今回は展示手法を変え、精密金型加工や精密部品加工、自動化などのテーマに合わせて関連製品を披露した。

精密金型加工向けには、碌々産業の超高精度高速微細加工機「AndroidII」や三菱電機のワイヤ放電加工機「MV1200R D-CUBES」など、県内初披露のJIMTOF出品機を展示。多くの来場者が関心を寄せた。

平澤社長は「これからの商社には『モノ』だけではなく『コト』を売る

姿勢が必要。単なるご用聞き営業ではない、付加価値の高い営業活動をすることで、いっそうの差別化を図りたい」と話す。

(構成/桑崎厚史)